



参政党 長野第2区 国政改革委員

たけした
竹下ひろよし

さんを紹介します

新しい政治への挑戦！地域から日本を変える

今号では、現在の国政のあり方に疑問を投げかけ、失ってきた価値観を政治の場で取り戻そうとした活動で「今まで投票に興味を失っていた層」を中心に2025年7月の参院選長野県区で185,000票余りの支持を集めた「竹下博善」さんの特集します。

私が政治家を志した理由

私は植木職人として独立開業して16年になります。日々、地域でお仕事をさせていただく中で、少子化により消えていく学校、後継者など担い手の見つからない米農家、そして深刻に広がる経済格差など、差し迫った課題の数々を目の当たりにしてきました。

この地域で暮らし、汗を流し、現場で働いてきた私だからこそ、肌を通して伝わった強い危機感があります。

「人任せでは何も変わらない、希望の持てる故郷を子どもたちに繋ぎたい!」その一心で、私は政治家を志しました。

子育て・働く世代の負担を断固として減らす

少子化の大きな原因。その一つは、あまりにも重い現役世代の税金と社会保障費の負担率です。その結果として、結婚や子育てに使う「当り前の余裕」が失われていることにあります。

事実、松本市や安曇野市では、人口が減っているのに対して世帯数は増え続けています。これは、一人暮らしや夫婦のみの世帯が急増している何よりの証拠です。

普通に働き、ささやかな家庭を築き、子供を持つことができる。そんな「当り前」の社会を、私たちは何としても取り戻さなくてはなりません。

国の税収は増え続けているのです。答えは意外に単純です。「取りすぎ」をやめるのです!

さらに、次世代が産まれてきていないという、この「国難」とも言える事態を乗り越えるためには、負担の軽減と合わせて、「手厚い支援」も同時に進めていく必要があります。

山あいの町村の衰退をここで食い止める

少子高齢化と人口減少。その影響がとりわけ深刻なのが、山あいの町村です。その進行速度は全国平均と比べても格段に速く、まさに待ったなしの状況です。

だからこそ今、若者が地元で誇りを持って働ける環境を作るため、「米農家や林業の公務員待遇」のような、従来の発想を超えた思いきった政策が必要です!

米農家の平均年齢が70歳を超え、私たち日本人の主食が、今まさに危機を迎えています。

また、最近よく耳にする熊の出没情報。これも、担い手不足によって森林が荒れ、野生動物との「境界線」が消えつつあることが大きな原因の一つです。

地域で安定して働ける環境を守り、創り出すこと。それこそが、私たちの暮らしの安全を守り、ひいては我が国の課題解決に結びつくのです。



参政党 長野第2区 国政改革委員 竹下 博善



地域から日本を変えるために、
竹下ひろよしさんの力が必要です。

神谷 宗幣

参政党代表／参議院議員

◎参政党のポスターを
掲示して頂ける方の
募集をしています。

ポスターを掲示して頂ける方は、
参政党HP(参政党事務局)まで
お問い合わせください。



ホームページで参政党をチェック!

HPはこちらから

◎参政党では様々な活動、
情報を発信しています。

◎参政党とは



◎党員募集中!



◎参政党の政策



◎公認候補予定者



<https://www.sanseito.jp/>



参政党
sanseito

DIY・タイムズ vol. 号外

2026/01/01

発行元：参政党事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-4-3
赤坂マカベビル5F
お問い合わせ・ご連絡：info@sanseito.jp



sanseito.jp



ホームページで
ぜひ参政党のことを
知ってください。

日本人ファースト参政党



“3つの柱と9の政策”

※ その他の
参政党の政策は
※ こちらから！ ※

1 日本人を豊かにする

の柱



～経済・産業・移民～

2 日本人を守り抜く

の柱

～食と健康・一次産業～



3 日本人を育む

の柱

～教育・人づくり～



1 “集めて配る”より、まず減税

現在、日本の国民負担率は約45.8%に達しています。この国民負担率を上限35%に抑え、減税と社会保険料削減で給料の3分の2は手取りで残します。

4 米の確保と食の安全

現在の食料自給率38%という危機的状況を打破するため、食料自給率100%、食品表示法の改善、オーガニック給食を推進。日本の未来を守る「食」の再構築を。

7 偏差値重視の管理教育を廃止

偏差値重視の教育から脱却し、自国への誇りや家族愛、社会貢献意識を育む教育を進めながら、愛と勇気を土台にした新しい教育で、日本の再生を図ります。

2 “勝つ産業”で日本再興

人工知能・製造業（自動車など）・サブカルチャーを重点政策「三本の矢」として支援。これらの成長産業を支えることで、国際競争力のある持続可能な経済を築きます。

5 GoToトラベルで医療費削減

健康で医療費削減に協力した高齢者には国内旅行券を配布し、予防医療への取り組みと国内旅行支援を組み合わせた政策を提案します。

8 子供一人につき月10万円

すべての子供に平等な教育機会を提供するため、0～15歳の子供一人につき月10万円の教育給付金を支給。安心して子育てできる社会の実現に向け、経済的支援を強化してまいります。

3 行き過ぎた外国人受け入れに反対

日本は日本人で支える国に。移民の課題は「外国人総合政策庁」で一括して取り組み、国民生活と国益を第一に考えた安全で安定した社会を実現します。

6 金儲け医療・WHOパンデミック条約に反対

参政党は、外圧に屈しない独立した感染症対策の体制を構築すべきと考え、医薬品業界や各国の利権が絡むWHO主導の新型感染症対策を見直します。

9 憲法づくりで政治に哲学を

参政党の憲法草案はこちら▶



参政党は、護憲・改憲という枠を超え、日本人自身が自らの手で新たな憲法を創る「創憲」を提案。ゼロから憲法を創ることで国民の意識改革を促します。

参政党とは、「仲間内の利益を優先する既存の政党政治では、私たちの祖先が守ってきたかけがえのない日本がダメになってしまう」という危機感を持った有志が集まり、ゼロからつくった政治団体です。特定の支援団体も、資金源もありません。同じ思いをもった普通の国民が集まり、知恵やお金を出し合い、自分たちで党運営を行っています。

／国民が政治に参加する／

参政党

sanseito

◎参政党はHP/SNSでさまざまな情報を発信しています



参政党事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂 3-4-3 赤坂マカベビル5F
お問い合わせ・ご連絡 / info@sanseito.jp